はなひらく

3学年だより

文責 高橋修

4/7号

最後の中学校生活が始まります。

3学年186名のみなさん、進級おめでとうございます。中学校生活最後の1年間をスタートです。修学旅行、最後の選手権、最後の総体、最後の樹光祭、最後の合唱祭、行事は今年もたくさんあります。しかし、今年はどんな活動にも「最後の」という言葉がついてきて、どの活動もあなたの大切な思い出の一つになります。この1年間をどう過ごすかはあなた次第です。どんなことにも一生懸命全力で取り組み、悔いの無い1年間にして、あなたの大事な思い出を作っていきます。

また、今の年頃は心も体も一番成長する時期。是非、成功・失敗など、さまざまな経験や学習を通して大きく成長して下さい。

昨日は、入学式がありました。大きな制服を着た新入生が、元気な返事を体育館に響かせていました。あれから2年間。皆さんの成長の早さに驚いています。体が大きくなるだけでなく、人を思いやる気持ちや、自分と周りの関係について深く考えることができるようになるなど大きく変わったと思います。私も主任としてみんなと、笑って、泣いて、感動して過ごしたいです。これから始まる中学校生活最後の1年間に期待をしています。

また、本年度は進路決定です。高校受験、就職決定です。自分で進路選択を行い、自分の足で、自分のスタンスで踏み出すときです。「学問に王道なし」、日々の努力が未来を開きます。進路とは、自分で道(路)を切り開き、進む(進)ものです。楽な道(道楽)では無いのです。経験の一つ一つがその人の自信になります。自分の力で進路を決め、明日につなげる1年間を送って欲しいと願っています。

「学校」という名の大地に「生徒」という名の種をまきます。そして「絆」という肥料をあげます。すると「友情」という名の葉が「いぶき」、「親友」という名の「はなひらく」。そして「永遠」という名の種に戻るのです。さあ、あなたの花をさかせよう。